

第 5 章

計画の推進体制

1 推進体制

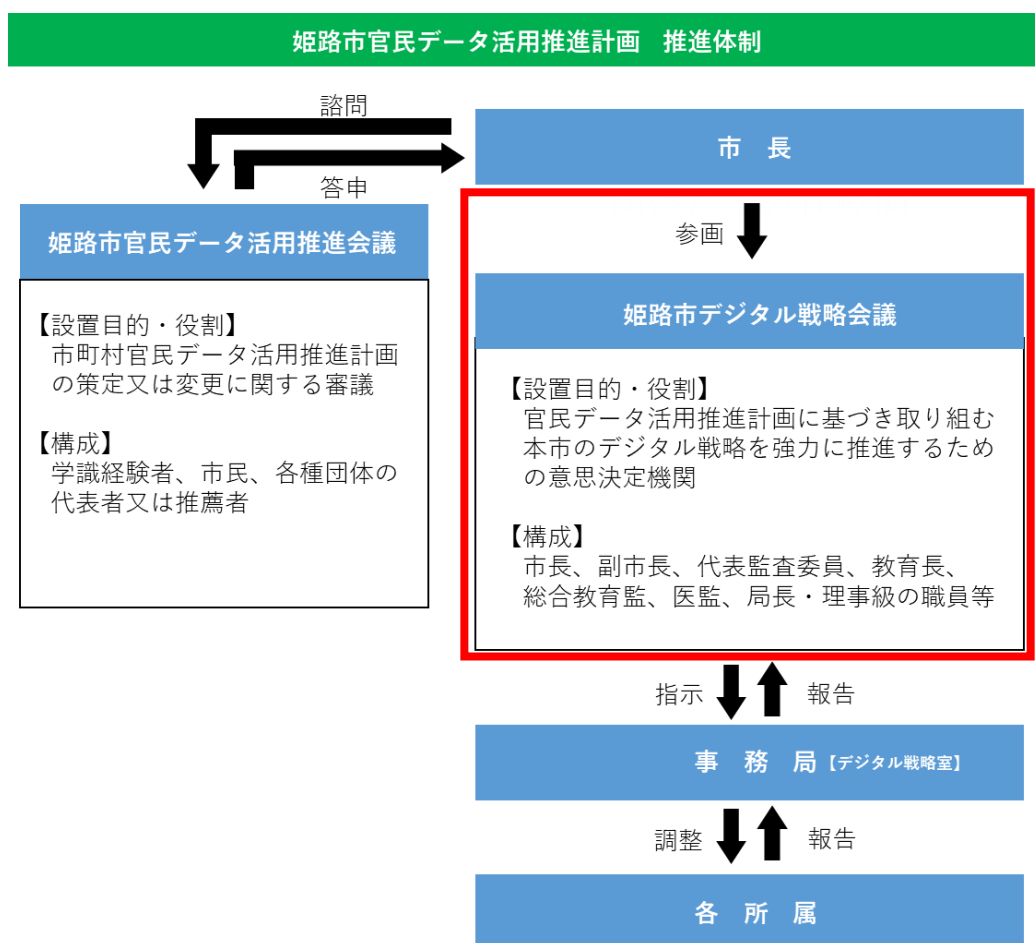
(1) 推進体制

ア 姫路市官民データ活用推進会議

デジタル化を取り巻く環境の変化や各施策の取組状況、市民のニーズに応じて、本計画の策定又は変更について審議する必要がある場合に招集する。

イ 姫路市デジタル戦略会議

本計画で定めた基本的政策に係る施策を推進するため、関連する庁内の取組状況を確認する。



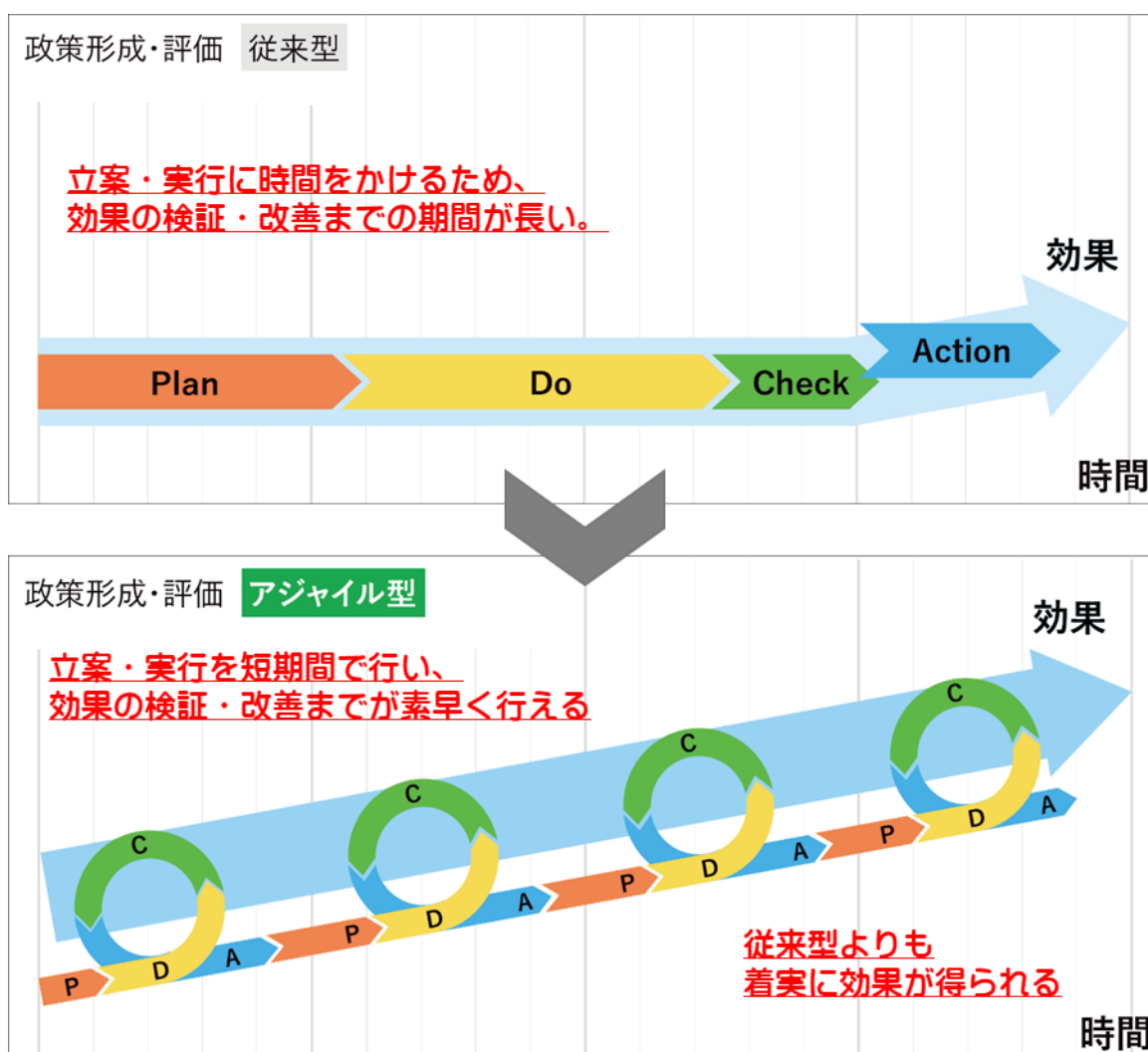
(2) 推進方策

政策の立案や検証・見直しを機動的に繰り返す「アジャイル」型の政策形成への転換が注目されており、そのプロセスや評価において、デジタル技術やデータの利活用が重要となっている。

デジタル技術の進展が著しい現代において、デジタル施策を推進するにあたっては、多様なデータとその分析により政策効果を追求した立案を行い、実行時には効果を測定して実態を把握し、その結果に基づいてより効果が上がる手段への入替えを果敢に行っていくことが重要であり、その政策形成を機動的で柔軟に立案・修正できるサイクルを確立する必要がある。

よって、「アジャイル」型の政策形成・評価とデジタル技術やデータの利活用とを、いわば車の両輪のように推進していくことが必要となる。

【アジャイル型政策形成・評価の取組イメージ】



2 進捗管理

基本的政策ごとにK P Iを設定し、**姫路市デジタル戦略会議**において進捗管理する。

基本的政策	K P I	現状値	目標値 (R7)
1 行政サービスのデジタル化	行政手続の オンライン化率 (全行政手続のうち、取扱い件数の少ない手続を除く) 平均利用率 (上記手続のうち、オンライン手続を利用している割合)	オンライン化率：21.7% (R3) 平均利用率：14.0% (R3)	オンライン化率：100% 平均利用率：60%
2 暮らしのデジタル化	姫路市民アプリの ダウンロード数 ※姫路市民アプリは、ひめパス・母子健康手帳アプリを示す。	38,283 件 (R4.12時点における ひめじプラス及びひめパスの 合計ダウンロード数)	100,000 件
3 産業のデジタル化	デジタル技術の有効活用による延べ宿泊者数の増 ※数値設定は「姫路市観光戦略プラン」のものとする。	958 千人 (R2 時点)	1,434 千人
4 デジタル社会を支えるシステム・技術	業務のデジタル化による業務時間削減数 (対令和4年度比)	— (令和4年度を基準とする)	1,500 時間 【令和5年度～令和7年度にデジタル化した業務の累計時間削減数】
5 地域資源を豊かにするデジタル活用	市が実施する又は公共施設において実施されるスマホ講座・パソコン講座等の延べ実施回数	1,599 回 【令和4年度実施回数】 (R4.10.1時点)	10,000 回 【令和5年度～令和7年度における延べ実施回数】